

通年コース・こうあ木工舎コラボ企画 木工教室開催

6月2日(日)、パインパーク木工室で木工教室を開催され9名が参加してくださいました。身近にある針葉樹の、アカマツ、カラマツ、ヒノキを使って椅子を製作しました。アカマツとカラマツは森林塾で去年伐採したものを伊那市の向山製材所で挽いてもらい、天然乾燥させたもので講師は、こうあ木工舎中村博さん。丸太を製材し、どのようなプロセスで木工の材料になるのかを説明した後、カンナで材料の面取りを行い、その後インパクトドライバーで座面を掘りながら木ネジとダボで組み立てました。参加者の感想として、「自分でつくる楽しさが新鮮だった」「木の性質(木表・木裏)が理解できた」「木目が美しい」「カンナがけに興味を持った」が挙げられ、集中して木のものづくりを楽しみました。この木工教室を通じて木の利用を考えることで、森林にも関心が高まるきっかけになれば幸いです。持ち帰った椅子はこれから少しずつ変化していきます。経年変化を観察し、今後も木の性質を学びましょう。



講師 こうあ木工舎 中村博さん ①荒製材の部材を仕上げる ②カンナがけ 地道な作業ですがはまります。



③座面の座彫り インパクトドライバーでさくさく穴を開けていきます。



④組み立て インパクトでビスを入れるときにずれないように気を遣います。やっと椅子の形になってきました。



copyright Ikuo Sasaki

⑤仕上げ 紙やすりで丁寧に仕上げ、その後レモンオイルで塗装を繰り返します。みんなで記念撮影。充実感です。